

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【かんしょ】 鹿児島県 白井さん

目に見えない線虫は 殺線虫効果で徹底して防除。 植え付けまでの期間も大幅短縮。

水はけの悪い圃場でも効果を実感。
殺線虫効果があるから安心できる。

「納入先の方から『今年もきれいなかんしょを作ってくれましたね』と言われた時が一番嬉しい」と、目を輝かせながら話す白井さん。かんしょの大産地、鹿児島県肝属郡錦江町で15年前に就農し、14haのかんしょをメインに、ごぼう、さといも、ばれいしょを生産しています。

納入先の方に満足してもらえるかんしょを作るために、特に力を入れ



*剣は合成です。



ているのが線虫防除です。「一番大事なのは土の中。線虫は目に見えないので念入りに対策します」と強く言い切る白井さんが使用しているのが、ネマトリンエース粒剤です。

「畑の中でも高い所や低い所があり、低い所は水はけが悪く、線虫の被害がよく発生する気がします。そういった場所でもネマトリンエース粒剤が効いているのか、最近は線虫被害がほぼ出ていません」と効果を実感されています。さらに、線虫の加害を抑えるだけでなく、殺線虫効果が高いことも、ネマトリンエース粒剤を選ぶ理由になっているそうです。「かんしょはすぐ採ればいいのですが、出荷する日程が決まっていて、出荷近くまで長く掘り起こさないものもある。そういうところはしっかり線虫を防除しておきたいので殺線虫剤しか使いません」。

処理後すぐに植え付けられるから、
作業効率が格段に上がった。

効果だけではなく作業効率の面でも、「処理後すぐに植え付けられるのがメリット」だと話してくれました。「線虫被害が特に心配な圃場では土壌くん蒸剤を併用していますが、被覆とガス抜き期間があるので植え付けまで2週間以上あけないといけない。一方、ネマトリンエース粒剤だけを全面土壌混和処理して畝を作った圃場は、その日のうちに植え付けられる。作業効率が良いですね」と高い評価をいただきました。

白井さんに今後の目標について伺うと、圃場周囲を指さしながら「この辺りも耕作放棄地がかなり増えました」と話し始めました。「全国的に農業をする方々が減ってきた今、若い方たちに農業っていいなと思ってもらえるよう、私たちが先頭に立って、結果を出せるように頑張っています」と頼もしい言葉を残してくれました。

※取材時(2023年10月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。